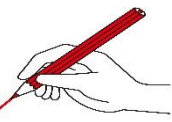


# Move Mountains

5年生通信

6月13日38号



○「俳句」を楽しく作るためには

俳句…17音 短歌…31音

古来より日本では、文字数制限をかけた中での言葉遊びを楽しんでいました。

Twitter（現 X）は、世界中で日本人ユーザーが圧倒的に多く、利用回数も多いのです。

そこには**140字という制限があるから**ではないか、とされています。（現在は140字以上できる方法もあるそうですね。）

5年生国語では、伝統的な言語文化に触れる単元として、俳句を作るものがあります。教科書には以下のように載っています。

「みなさんも、生活の中での発見やおどろき、心が動いたことなどを、俳句にして伝えてみましょう。」

メモの例

- ・久しぶりの雨
- ・庭のあじさいの花や葉っぱに雨が当たって、動いていた
- ・あじさいはうれしそうだった

「心動いたことを俳句で表現する」というのは分かりますが、上記の例ほどの解像度で生活している人はごくまれ、本当に少数ではないでしょうか…。

「ん～。感動したこと？ ない！」

となることが目に見えています。私もこれは難題です。

というわけで、今回の授業は俳句～超入門編～です。小学生からでも俳句を楽しむ原理・原則を中心に授業しました。

まずありがちな俳句です。

暑い日に アイスを食べて おいしいな

書いてあることそのまま。想像が広がりません。

ちょっとだけ変えてみます

## 暑い日に アイスを食べて おどろいた

ここで「何に驚いたと思いますか？」と聞きました。

- ・冷たすぎて
- ・おいしすぎて
- ・落とした
- ・ドロドロで

たくさん出てきましたね。俳句は、こうして**想像が広がるもの**がいいんだよ、だから思ったことをそのまま書かないと面白くなるよ、と伝えました。

### **原理・原則①そのまま書かない**

他の例も示します。

## 田中くん 水をこぼして 梅雨の空

一瞬、「ん？」となります。

- ・水をこぼした田中くんは、どんな表情だと思いますか

→悲しそうな顔

- ・梅雨の空 ということは、どんな天気ですか

→雨

- ・田中くんが、水をこぼしてちょっと悲しい気持ちと、雨がリンクしていますね

→なるほど！

- ・ちょっと悲しい顔をして、空を見上げているところまで想像できませんか…。

### **原理・原則②一見、全く関係なさそうな言葉を組み合わせしてみる**

### 他にも③オノマトペ④擬人法⑤順序を入れ替える

といったテクニックを紹介しました。

ここまで来たら、やることは一つ。多作です。つまりたくさん作る。数うちや当たる！の精神が大切です。

祖母は、かつて中日新聞にしょっちゅう俳句を投稿し、掲載されていたのですがとにかくたくさん作ることをモットーとしていました。

上記1時間の指導で、必ず一つは「提出すること」としていましたが、驚くほどにクオリティが高い！

## 風鈴の音がする かららんと

オノマトペの使い方が秀逸！夏の情景が目に浮かびますね。

## 春休み 入学式で 寝坊した

入学式で寝坊…。考えただけで恐ろしいですね。寝坊した子はどんな表情でしょうか。どんな行動をしているのでしょうか。想像が広がる良い句ですね。

## セミが鳴く 魚の家に おじゃまする

「魚の家」というのは、海のことだそうです。海を言い換えることで、見事な作品に仕上がっています。

## 暑い夏プールに飛び込み足をつる

「意外な組み合わせ」パターンですね。爽やかなプールを想像させてからのマイナスのできごとが起こることで、意外性があるとおもしろいですね。

## 田植え中 汗がくるって 飛び回る

私たちは、田植えをした実体験があるからこそ、説得力のある句ですね。こうして、自分の経験を17音で表現できるのはレベルの高いことです。「くるって」を狂ってなのか、来るってなのか、はたまたオノマトペなのか。想像が広がります。

掛け言葉が入るなど、言葉で遊べるようになり始めると、楽しくなっていきます。紙と鉛筆があれば、いつでも、どこでもできます。

感想、お待ちしております♪

☆お便りフォームはこちら☆

<https://forms.gle/ndGkDHTYcmB1bWyU9>

